

若葉台西中だより

横浜市立若葉台西中学校

第42号

平成19年2月8日(木)発行

校長 田中明子

横浜市旭区若葉台四丁目34-1

TEL 921-0281

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/wakabadainishi/>

FAX 922-5986

< 閉校にあたっての各種会計処理について >

保護者の皆様から納入いただいた諸費用については、閉校にともなってすべて清算することになります。

各学年とも「学年費」「副教材費」は単年度決済ですので、会計報告とともに、例年通り、残金が生じた場合は返金いたします。詳細は後日プリントでお知らせします。

「PTA会費」「部活動振興会費」「同窓会費」につきましては、過年度の累計金額があります。今年度分の執行後に生じた残金について適正な処理が必要になってまいりますので、年度当初からこのことを念頭に置いて対応してまいりました。

3月に入りますと、卒業式や閉校式、事務処理、引っ越しなどで立て込んでいきますので、会計処理は2月中に行います。そのため一部執行予定を含んでのご報告になります。

また、例年ですとPTAも部活動振興会も新年度に入ってから総会を開催してご承認いただいておりますが、それができませんので、紙面総会にてご承認いただくことになりました。

2月下旬に会計監査をしていただき、3月初旬には紙面総会等のプリントを配布する予定です。お忙しい時期とは存じますが、お子さんの持ち帰るプリントにご注意いただき、承認につきましてのご回答を提出して下さるようお願いいたします。

< 若葉台西中学校の修了式・閉校式・離退任式について >

今年度の卒業式は横浜市立中学校はすべて一斉に3月9日(金)に行われます。1・2年生の修了式は3月23日(金)になりますので、今年度は修了式・閉校式・離退任式をひとくくりにして実施することにいたしました。教育課程上は儀式的行事の位置づけになります。

離退任式については若葉台中学校で4月に実施する案と比較して検討しましたが、修了式・閉校式と一緒にを行う方が良いということになりました。

各々のねらいは次の通りです。

修了式 : それぞれの学年の課程を修了したことを認証する。

閉校式 : 学校再編により閉校することを内外に宣言し、母校と惜別する。

離退任式 : 離退任する教職員に感謝し送別する。

三つの式の重複する部分については重複を避け、約2時間の一つの式にまとめて構成し運営します。

3月23日(金)午前中に本校体育館にて行いますが、詳細は後日お知らせいたします。

なお、3月23日には3月9日に卒業式を済ませた3年生(3月31日まで若葉台西中学校の在籍者です)も出席しますので予定しておいてください。やむを得ず欠席する場合は欠席連絡をしていただくと共に、当日お渡しする記念品がありますので、誰に受け取りを託すか担任にご連絡ください。

出席者は生徒(1・2・3年生)、来賓、教職員、保護者(自由参加)と卒業生です。会場準備の都合上、出席を希望される保護者の方には事前に出席希望票を提出していただく予定です。卒業生には学校だよりや学校のホームページでお知らせします。

3月26日(月)からは、事務処理と引っ越し等で学校はてんでご舞いの忙しさに突入します。ご理解とご協力をお願いいたします。

< 若葉台中学校の開校式について >

鈴木時夫若葉台中学校開設準備担当(若葉台東中学校長兼務)より、開校式の日時について連絡をいただきました。

若葉台中学校開校式は、平成19年4月1日(日)午前11時より挙行されます

現1・2年生並びに新入生は全員参列します。登校時刻や服装・持ち物その他詳細については別途お知らせします。2月13日に東中で行われる若葉台中学校説明会でも説明されます。

1月26日に、1年職業講話・2年職場体験を実施しました。生徒の感想を掲載します。

1年職業講話は、各クラスとも4人の講師からお話をうかがいました。

足立 妙子様（学童クラブ指導員）

自分より人のことを考えていて、いつでも皆を『大切』に思っていて、すごいと思った。第二の家として過ごしやすくしていて、いい人が沢山いていいなあと思った。

前に見学に行ったとき、小学生が楽しそうに遊んでいたのを見て、知っている子もいたから、「楽しそうだなあ」と思った。今回話を聞いて、小学生が楽しそうだったのは、指導員のお陰でもあるんだなと思った。

南 宏市朗様（VOSC名誉村長）

いろいろな人が、若葉台を創っているんだなあとおもいました。私たちが住んでいる若葉台について、初めて知ったことが沢山あったので良かった。毎年楽しみにしている若葉台大運動会や夏まつりが開かれるまでのことが分かった。『若葉台スポーツ文化村』の大切さを改めて実感できた。

若葉台がここまでいい街・住みやすい街になったのは、本当にここまで若葉台を大切にしている人達がいるからだと思いました。

大庭 一清様（NAS指導員）

みんな違う仕事につき、違う道を歩んで行くけれど、その仕事を楽しんで自分なりに頑張っていて、自分に合っている仕事を選ぶように、今から少しずつ自分を見つめていきたいなあと思いました。

『いろいろな人をサポートして、その人がいい気分であらいたい！』という言葉が印象に残った。

伊東 宏信様（地域作業所職員）

人によっていろいろな個性があるけれど、そこをみんなで認め合い、助け合うことが大切だなあと思いました。『気づいてあげること』というのは、相手のことを考えて言ってあげられるのすごくいいなあと思いました。

知的障「害」の「害」は良くないという話を先にしていた。自分もそう感じた。「碍」という字を言っていたので、そっちの方が自分もいいなあと思った。

2年職場体験は、64名が46カ所に分かれて貴重な体験学習をさせていただきました。

横浜旭中央総合病院：社会の人の責任ある仕事ぶりや看護師さんの仕事のイメージがとても変わりました。チームで取り組んだり、薬の管理も2人でやって、「責任重大だけど、とてもやりがいがあるなあ」と思いました。

ハングリータイガー：(嬉しかったのは)お客様にお水やおしぼりを出せたこと。『トルテリーニベジタブルスープ』とつかえないで言えたこと。お客さんがどんどん入ってきてビックリしたけど、そのお陰でお冷ややおしぼりを沢山出せたので嬉しかった。ハンバーグたたきもすごく良かったです。

霧が丘動物病院：「すごい！」と思ったことは、院長さんが患者さんのペットの名前を間違えないことです。院長さんはきちんと1人1人の話を聞いて、詳しく正確に病態を伝えている姿を見てスゴいなあと感動しました。

横浜レンタル：社会での基本などが職場体験を通してわかった。例えば、一日は『あいさつ』から始まって『あいさつ』で終わることが学べた。お客さんを相手にしている商売の人たちは、お客さんをすごく大事にしていることがわかった。

若葉台保育園：けんかをした時など、あたりまえだけど、いつも平等に接しないといけないということを改めて感じました。すぐにいろいろやってしまうのではなく、まず、自分でやらせて様子を見ることが重要だし、いけないことを頭ごなしにダメと言うのではなく、「～していいんだっけ？」と質問してみることが良いとわかりました。

ベスト電器二俣川店：品出しや商品のホコリをとったり、いろいろと細かいことをやっているのを知り、その細かいことをやらなければ、見た目は悪くなり、不便になったりすることを教えてもらい、店の中でも見る目が変わってきました。

*** 3月のおもな予定 ***

公立高校後期選抜発表（1日） 卒業式予行・卒業生を送る会（7日） 卒業証書授与式（9日）

1・2年横浜市学習状況調査（13・14日） 大掃除（22日） 修了式・閉校式・離任式（23日）

吹奏楽部定期演奏会（27日） 引っ越しボランティア募集（26・27・28日） 引っ越し当日（28日）